

平成 28 酒造年度 全国新酒鑑評会において  
「白鶴酒造株式会社 本店二号蔵・旭蔵」の二醸造場が金賞を受賞

白鶴酒造株式会社（本社：兵庫県神戸市、代表取締役社長：嘉納健二、資本金：4億9,500万円）では、平成28酒造年度 全国新酒鑑評会（独立行政法人酒類総合研究所・日本酒造組合中央会共催）において、

1. 本店二号蔵
2. 旭蔵

の二醸造場が金賞を受賞しました。

当社はこの賞を受け、これまで以上に品質向上に努め、日本酒の美味しさを皆様にお伝えしてまいります。

<平成 28 酒造年度 全国新酒鑑評会について>

製造された清酒を全国的に調査研究することにより、製造技術と酒質の現状及び動向を明らかにし、もって清酒の品質及び製造技術の向上に資するとともに、国民の清酒に対する認識を高めることを目的として独立行政法人酒類総合研究所と日本酒造組合中央会が共催している清酒の新酒鑑評会。

URL：[http://www.nrib.go.jp/kan/h28by/h28bymoku\\_top.htm](http://www.nrib.go.jp/kan/h28by/h28bymoku_top.htm)

平成 28 酒造年度全国新酒鑑評会詳細

【出品点数】 860点

【予 審】 平成 29 年 4 月 25 日（火）～ 27 日（木）の 3 日間

【決 審】 平成 29 年 5 月 9 日（火）～ 10 日（水）の 2 日間

【審査結果】 入賞酒：437 点（成績が優秀と認められた出品酒）

金賞酒：242 点（入賞酒のうち特に成績が優秀と認められた出品酒）

<白鶴酒造株式会社>

創業以来、270 年以上にわたり「伝統」と「最新技術」を巧みに融合させた技術や生産設備をバランス良く活かして理想の酒を生み出す日本酒メーカー。「おいしさ」の追求とより安全でさらに安心できる「ものづくり」を基本に、日々進歩する醸造技術を積極的に取り入れ、品質のさらなる向上をめざし、信頼あるブランド育成に努める。清酒の製造・販売だけでなく、お酒にあうおつまみやデザートレシピの提案等、常に消費者の食文化・生活文化によりそう提案を続けている。

<会社概要>

商号：白鶴酒造株式会社

代表者：代表取締役社長 嘉納 健二

所在地：〒658-0041 兵庫県神戸市東灘区住吉南町 4 丁目 5-5

設立：1927 年(昭和 2 年)8 月

資本金：4 億 9,500 万円

事業内容：清酒の製造・販売および媒介、焼酎・リキュール・味醂・その他酒類の製造・販売および媒介、ビール・醤油・清涼飲料水・その他食料品の販売、輸入ワインの販売、不動産の賃貸、化粧品の販売

URL：<http://www.hakutsuru.co.jp/>